

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	421	
施策名	生活を豊かにする生涯学習の推進	施策の目的 <ul style="list-style-type: none"> ● 主体的な生涯学習を推進し、学習成果を地域社会へ還元します。 ● 青少年の健全な育成を図ります。 ● 生涯学習の場を提供します。
関係課	生涯学習課、市民生活課、少年指導センター	

1. 進行管理

(1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

			実績基準値	実績値					見込値	目標値	最終年度（R7）の 目標値達成見込	R6年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
	指標	単位	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7			
a	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	29.9	35.2	34.4	33.4	33.9	34.4	34.0	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	ここ数年ほぼ横ばいで推移しており、今後も同様の見込み。	
b	学習成果を還元している市民の割合	%	7.0	8.9	28.0	24.8	26.6	27.1	14.5	①既に目標値達成済み	コロナ禍後に回復しており、今後も同様の見込み。 また、指標については、R3からR4にかけて市政アンケートからの計算式の変更に伴い増加している。	
c	自分が成長し自立したと感じる新成人の割合	%	65.0	100	100	100	96.6	97.1	95.0	②現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）	二十歳のつどい実施後に、アンケートを実施している。近年の傾向から、目標値を越える見込み。	
d	楽習講師を活用した講座数【楽習講師が社会還元した件数（年度ごとの講座実施数）】	件	45	50	159	184	173	180	340	④現在の想定では目標達成が困難	コロナ禍で講座数が大きく減少し、徐々に回復はしているものの、以前の水準に達するには時間がかかる見込み。	

(2) 構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR5との比較となります。

①施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】

[illegible]

【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	効果説明
16	青少年活動育成促進事業	ボランティアへの理解を深めた参加者の割合	%	100	100	96.6	52	52	59	市主催のイベント等においてボランティア活動を体験することにより、青少年が、ボランティア活動への理解を深めた。

②施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	効果説明
1	社会教育指導員設置事業	社会教育指導員の公民館における講座運営数	回	130	75	79	10,816	11,655	14,123	各公民館において、講座の企画運営を行った。 佐野市PTA連合会の事業執行に対し、支援を行った。
		主として関連した団体の事業執行率	%	100	100	100				
7	栃木県社会教育委員協議会参画事業	社会教育委員数	人	18	18	18	10	10	10	県協議会へ参画することにより、研修の受講や他市町社会教育委員との交流を通じて、本市社会教育委員の資質向上が見られた。
		社会教育委員研修出席率	%	22.2	38.8	44.4				
8	作原野外活動施設改修事業	不都合なく安全利用できた利用者の割合	%			100	0	0	67,677	利用者が安全・安心に利用できる環境を整備した。
9	社会教育委員設置事業	社会教育委員数	人	18	18	18	202	210	202	社会教育に関する適切な諸計画を立案してもらえよう、必要な調査研究のための機会（研修等）を提供する。社会教育行政に関して教育委員会に助言等を行い、社会教育活動の拡充・振興を図る。
		社会教育委員会議出席率	%	75.0	80.0	83.0				
19	子ども会ジュニアリーダー研修会開催事業	研修会開催回数	回	0	0	1	0	0	8	参加者アンケートでは、参加者 2 4 名のうち、2 3 名が「リーダーについて学ぶことができた」、全員が「参加して良かった」と回答した。
20	佐野市小中義務教育学校 P T A 連絡協議会支援事業	団体の補助金執行率	%	0	0	100	0	0	250	支援により、団体の目的である、学校教育・家庭教育・社会教育の充実振興への寄与を図ることをができた。 ※令和 4・5 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により開催できない事業があり補助金が不要となったため、変更交付決定により補助金を返納してもらった。
27	各地区公民館空調設備等改修事業	各地区公民館の利用者数	人	159,626	178,113	199,981	0	6,050	166,238	学習の場が整備されたことにより、生涯学習施設の利用者数が増加している。
28	各地区公民館トイレ洋式化等事業	各地区公民館の利用者数	人	159,626	178,113	199,981	0	29,282	24,299	学習の場が整備されたことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。
29	葛生文化センター改修事業	葛生地区公民館利用者数	人	4,954	5,569	5,980	0	0	8,173	葛生文化センターが適切に維持管理されたことにより、利用者数が増加している。
		葛生化石館利用者数	人	16,606	16,481	22,495				
31	佐野各地区公民館維持管理事業	佐野各地区公民館の利用者数	人	100,688	110,371	121,269	28,955	29,254	29,801	施設の適切な維持管理を図ったことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。
32	佐野各地区公民館運営事業	佐野各地区公民館の利用者数	人	100,688	110,371	121,269	28,085	28,699	35,557	施設の円滑な運営を図ったことにより、佐野各地区公民館の利用者数が増加している。
34	生涯学習情報収集・発信事業	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	34	33	34	103	64	62	日頃から生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合が増加した。
38	栃木県公民館連絡協議会参画事業	公民館の利用者数	千人	160	178	200	129	129	122	協議会への参加により、県教委、県内他市町公民館と情報共有が行われ、公民館活動が活発化し、利用者数が増加した。
43	田沼各地区公民館維持管理事業	田沼各地区公民館の利用者数	人	8,049	8,419	10,249	2,785	2,544	2,500	田沼各地区公民館の利用者数は適切維持管理により増加している。
44	田沼各地区公民館運営事業	田沼各地区公民館の利用者数	人	8,049	8,419	10,249	1,696	1,688	1,692	田沼各地区公民館の利用者数は適切な運営により増加している。
45	田沼各地区公民館活動支援事業	田沼各地区公民館利用者数	人	8,049	8,419	10,249	1,144	1,144	1,142	田沼各地区公民館 1 1 館の利用者数は適切な事業運営により増加している。
46	田沼各地区公民館活動事業	田沼各地区公民館11館の利用者数	人	8,049	8,419	10,249	16	15	21	田沼各地区公民館11館の利用者数は適切な運営により増加している。
47	田沼中央公民館維持管理事業	田沼中央公民館利用者数	人	19,463	22,994	27,713	23,321	25,490	28,261	田沼中央公民館の利用者数は適切な維持管理により増加している。
48	田沼中央公民館運営事業	田沼中央公民館利用者数	人	19,463	22,994	27,713	4,876	5,571	6,917	田沼中央公民館の利用者数は適切な維持管理及び運営により増加している。
50	中央公民館維持管理事業	中央公民館利用者数	人	21,315	24,419	27,316	13,061	15,564	15,427	施設の適切な維持管理により、公民館の利用者数は年々増加している。
51	中央公民館運営事業	中央公民館利用者数	人	21,315	24,419	27,316	4,530	5,079	6,408	施設の適切な運営により、公民館の利用者数は年々増加している。
52	中央公民館市民教養講座開催事業	講座に参加し満足した受講者の割合	%	100	98.3	98.7	171	158	146	講座に参加し満足した受講者の割合は、年度によってばらつきはあるものの全体的に高くなっている。 常盤地区公民館と氷室地区公民館を適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。
54	葛生（常盤・氷室）公民館維持管理事業	常盤地区公民館利用者数	人	3,919	4,428	4,670	2,928	3,275	3,814	
		氷室地区公民館利用者数	人	1,238	1,913	2,784				
55	葛生（常盤・氷室）公民館運営事業	常盤地区公民館利用者数	人	3,919	4,428	4,670	5,536	6,032	7,750	常盤地区公民館と氷室地区公民館を適切に運営していることにより、利用者数が増加している。
		氷室地区公民館利用者数	人	1,238	1,913	2,784				
56	葛生地区公民館維持管理事業	葛生地区公民館利用者数	人	4,954	5,569	6,119	979	1,159	1,388	葛生地区公民館を適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。
57	葛生地区公民館運営事業	葛生地区公民館利用者数	人	4,954	5,569	6,119	4,858	5,344	7,107	葛生地区公民館を適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。
59	葛生文化センター維持管理事業	葛生地区公民館利用者数	人	4,954	5,569	6,119	8,501	8,291	9,283	葛生文化センターを適切に維持できていることにより、利用者数が増加している。
		葛生化石館利用者数	人	16,606	16,481	22,495				

【効果が下がった事業】

[illegible]

（３）基本方針の取組状況

①特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

各地区公民館等の改修・修繕については、令和４年度以前から取り組んできたが、令和４年度以降財政的に有利な起債の活用によって改修ペースを加速させることができた。

②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

・特になし

（４）令和６年度行政経営方針の取組状況

①令和６年度行政経営方針

- ・生涯学習施設（図書館・各地区公民館等）については、計画的に改修・修繕を行い、快適な学習の場の提供を図る。
- ・幅広い世代（特に若い世代）が生涯学習に取り組めるよう、多様な学習メニューを提供し、広報さのや市ホームページ、佐野ケーブルテレビ等の様々な媒体を利用して周知を図る。
- ・学習成果を自ら企画し発表できる機会の拡充を図り、特にシニア世代が地域社会に参加する機会を提供する。
- ・オンラインによる遠隔地の講師等の活用やデジタルを活用した講座など、新たな学習ニーズへの対応を図る。
- ・青少年を対象とする体験的な学習を実施するとともに、青少年健全育成のための学習活動を実施している青年団体を支援する。

②令和６年度行政経営方針の取組状況

- ・各地区公民館等については、財政的に有利な起債を活用し、トイレと空調設備の改修を行った。また、耐震性が不足している施設への対応も行った。図書館については、学習室やトイレ、水道設備の改修・修繕を行った。
- ・各種講座については、広報さのや市ホームページ等に掲載するとともに、メニューパンフレットを年２回発行し、幅広い世代に対し周知を図った。
- ・学習成果を発表する場として、生涯学習フォーラムの開催や楽習講師企画講座の支援を行った。
- ・県主催の研修を家庭教育支援チームに、市役所の会議室を使用してオンラインで受講してもらった。
- ・青少年を対象とした佐野・芦屋青少年交流事業、二十歳のつどい開催事業のほか、青少年ボランティア研修会において年間６回以上のボランティア活動を実施できた。
- また、青年団体への支援については、補助金の交付や活動支援を実施した。

２．課題と次年度（令和8年度）の取組

（１）課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>

- ①学習メニューの充実と周知
- ②デジタルの活用による講習や講座の開催
- ③青少年の健全育成に係る研修や交流会の開催
- ④各地区公民館を始めとする社会教育施設の改修による学び及び発表の場の提供

（２）課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定

- ①各種講座及び楽習講師制度について、広報さのや市ホームページ等に掲載するとともに、メニューパンフレットを年２回発行し、周知を図る。
- ②県主催の研修を、対象者に市役所の会議室を使用してオンラインで受講できるようにする。
- ③青少年を対象とした佐野・芦屋青少年交流事業、二十歳のつどい開催事業などを実施する。
- ④各地区公民館等について、設備改修工事等を行う。常盤地区公民館移転に向け旧常盤中学校の改修工事設計を行う。図書館について、トイレ洋式化等改修工事を行う。葛生文化センターについて、建替、移転等の方向性の検討を行う。

（３）次年度（令和8年度）の取組（案）

- ①幅広い世代が生涯学習に取り組める学習メニューを提供し、広報さのや市のホームページ等を利用して学習情報の周知を図る。
- ②オンラインによる遠隔地の講師等の活用やデジタルを活用した講座など、新たな学習ニーズへの対応を図る。
- ③青少年を対象とする体験的な学習活動の機会を提供するとともに、青少年健全育成のための学習活動を実施している団体を支援する。
- ④生涯学習施設（図書館・各地区公民館等）を持続的に運営できるよう、計画的に改修・修繕を行い、学習の場の提供を図る。
- また、文化会館の改修（３年間）により、令和７年度までに着手できない施設（田沼中央公民館）もあることから、８年度以降も大規模改修が必要な施設が残るため、他施設との計画と併せて検討する。葛生文化センターについて、７年度の検討結果に基づき対応を行う。